

インターバンクの声（2016 年 6 月 9 日）

今週は、ここまで米国の主要経済指標の発表もなく、どうしても先週末の低調だった雇用統計やイエレン連邦準備制度理事会（FRB）議長の利上げ時期を明示しなかった講演発言を引きずりやすい相場になってしまっている。昨夜の海外市場のドル/円も、週明けの東京市場の朝にどうにか下げ止まった106円中盤近くまで円が買われ、ドル買いのポジションを持ち続けている人々にとってはストップをどのレベルに置くべきか悩ましい展開となった。わずかに残っていた来週の連邦公開市場委員会（FOMC）での利上げ観測も、昨日には完全になくなってしまっていたようだ。こうなると7月の利上げの確率もかなり低下しているはずで、いよいよ来週以降、来月中盤頃までの米経済指標の内容が重要になってくる。とりわけ雇用の項目を含んだ指標や来月8日の雇用統計での就業者数の伸びが2ヵ月連続の低迷になるかが鍵だろう。英国の欧州連合（EU）からの離脱の是非を問う国民投票の行方も少なからずドル/円の動きに影響を与えそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。